

西小岩通り道路拡幅計画を J R 小岩駅周辺地区まちづくり基本構想から外すことを求める陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 6 号

受理年月日 平成 23 年 6 月 23 日

付託年月日 平成 23 年 6 月 28 日

陳情者 . . . . .  
. . . . .

陳情要旨 私たちは、西小岩通り道路拡幅計画（沿道開発）について、区の計画説明にも真摯に耳を傾け、4年にわたり話し合いを続けてきました。

現在、西小岩通り商店街は、空き店舗もなく商売が続けられ、若い人も増えて賑わいのある商店街になっています。

江戸川区の道路拡幅計画は、このような生き生きとした商店街の、現在道路幅 5.5 m の生活道路を 12 m に拡幅し、車の通過道路にする、またそれに伴って各権利者の前面道路を 3.5 m けずるというリスク負担の大きなものです。

私たちは、この計画によって西小岩通り商店街にとってどのような利益が生まれ、また、商店街を利用する地域の方々にどのようなメリットがあるのかなど、区との話し合いの中で繰り返し説明を求めてきました。しかし、区からは一度として納得できる説明はありませんでした。

この道路拡幅計画は、はじめから住民が望んだものではなく、区が一方向的に押し付けたものです。私たちは納得できない道路拡幅計画に終始一貫反対するものです。

なお、現在西小岩通りに面し道路拡幅に反対署名している地権者は、34名中24名に達しており（70%以上）、また、オーナー・店子は63名中52名が拡幅反対に署名しております（82%以上）。（オーナー・店子の賛成は2名のみ、回答なしが9名）このように地元関係権利者の声は「道路拡幅反対」です。

こうした声を踏まえ、先の3月26日に行われた区都市開発部と私たち「西小岩通りをよくする会」の話し合いにおいて、区の担当者として出席された担当係長は以下のように明言されました。

- ・「西小岩通りについて、今後開発するとか、道路の拡幅はいっさいなし。『勉強会』もなくなった。」
- ・「都市開発部長（当時）も言っているように、反対がある中で都市計画を決めたり、あるいは事業をすすめたりということはやらないです。」

以上の内容については、部長が交代した後の6月6日にも、後任の都市開発部長と「西小岩通りをよくする会」の間で再度確認しています。

私たちは、このままの道幅で商店街を残したいと考えています。従って西小岩通り道路拡幅計画を J R 小岩駅周辺地区まちづくり基本構想から外すよう強く求め陳情を提出します。